

## 効率的・効果的な行財政運営の推進

多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。

### ■現状と課題

- 社会環境の変化や少子高齢化の進行などを背景に、地域社会が抱える課題がますます複雑多様化し、行政需要が増大していくことが見込まれます。限られた財源と人的資源で市民ニーズに対応するため、DX（デジタルトランスフォーメーション）（※1）や人材育成、事業の見直しなどを進め、効率的・効果的な行政運営を推進する必要があります。
- 市の財政状況は、歳入の根幹である市税が、生産年齢人口の減少が続いていることなどによりゆるやかに減収する傾向にある一方、歳出では、少子化対策や高齢社会への対応などによる社会保障関連経費の増加が見込まれるほか、小中学校をはじめとする公共施設の老朽化対策など、多額の経費を要する事業が予定されており、さらに厳しい財政運営が続くと予想されます。このような状況の中、健全な財政運営を進めていくため、歳入では財源の確保に努めるとともに、歳出では、事業のさらなる選択と集中を検討し、時代の変化を見据え、業務改革を進める必要があります。
- 高度経済成長期の人口増加に合わせて整備してきた公共施設の多くは、老朽化が進んでいます。人口の推移や財政の見直しなどを踏まえながら、長期的な視点を持って、計画的に公共施設の老朽化対策に取り組んでいく必要があります。

（※1）DX（デジタルトランスフォーメーション）

ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でよりよい方向に変化させること。

### ■主な取組

#### 効率的・効果的な行政運営の推進

- 市民の視点を取り入れた事業自体の見直し、BPR（※2）の手法を活用した業務の効率化、PPP/PFI（※3）などの官民連携手法を通じた民間の創意工夫の取入れなどを進め、行政改革を推進します。
- 革新的な技術を活用した取組について調査・研究を進め、市民サービスの充実や業務の効率化、情報セキュリティの強化を図ります。
- マイナンバー制度の更なる普及、DXの推進など、デジタル時代に対応した地域社会の実現を目指します。
- 組織としてデジタル・ガバメントを推進するためにデジタル人材の確保・育成に取り組みます。

- 社会情勢や行政課題に的確に対応できるよう、柔軟で機能的な組織運営を進めます。
- 市民の利益を損なうことのないよう、業務上のリスクを識別・評価し対応策を講じるリスクマネジメントを推進します。
- 複雑高度化する行政需要に対応していくため、多様で質の高い人材を確保するとともに、職員研修や人事評価制度などにより、人材育成に努めていきます。
- 近隣や共通課題を有する自治体、民間事業者、大学などと連携し、スケールメリットやそれぞれの強みを活かした行政運営の推進を図ります。

(※2) BPR (Business Process Reengineering)

業務プロセスを見直し抜本的に設計し直すこと。

(※3) PPP/PFI

PPP (Public Private Partnership)

公共サービスの提案に民間が参画する手法を幅広く捉えた概念で、民間資本やノウハウを活用して、効率化や公共サービスの向上を目指すもの。

PFI (Private Finance Initiative)

公共施設等の建設、維持管理、運営などを民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して、効率化や公共サービスの向上を図る公共事業の手法。

### **健全で安定した財政運営**

- 限られた財源を効率的・効果的に活用するため、当初予算編成にあたっては、社会情勢の変化に対応した経常的経費の適切な配分と、事業の必要性や優先度を踏まえた政策的経費の計画的な選択を進めます。
- 当初予算編成後には中期財政計画の見直しを行い、中期的な財政見通しに基づく計画的な財政運営を進めます。
- 決算後はその状況を財政白書等にまとめ、わかりやすい内容で提供するとともに、国の定める統一的な基準による財務書類を作成し、財政運営に活用します。
- 持続可能な財政運営と世代間の公平性を保つため、基金や返済時に交付税措置のある地方債を有効に活用するほか、国・県の補助金の活用を考慮した事業の組み立てやふるさと納税制度による寄附金の受け入れなど、さまざまな手法による歳入の確保に努めます。
- 国と地方間の税財源の配分の適正化などを国に働き掛けるほか、市のサービス提供に対する使用料・手数料などについて、定期的に見直します。
- 多様な支払い方法を取入れ、納税者の利便性向上を図るとともに、滞納処分を実施し、収納率の向上を図ります。
- 老朽化が進む公共施設を、財政負担の平準化を図りながら適正に維持管理していくため、長寿命化につながる保全や更新を計画的に実施するとともに、人口の推移や

市民ニーズの変化に合わせて、複合化や集約化など、公共施設の最適な配置について検討します。

■ 施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
一人当たりの時間外勤務数	115.1 時間 (R1)	97.8 時間	市長部局の時間外勤務数
経常収支比率	93.3% (R2)	全国の類似団体の平均以下	全国の類似団体の令和元年度平均は 94.3%
財政調整基金の年度末残高	23 億 4,700 万円 (R2)	標準財政規模の 10%	令和 2 年度の標準財政規模の 10%は 24 億 5,000 万円 (千万円未満は繰上げ)
市税の収納率	98.71% (R2)	99.00%	現年度分

■ 施策の満足度・不満足に関する指標（現況値は令和元年の市民アンケート結果を記載）

【総合的・効率的な行政運営】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 60.4%

指標名		現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）		19.8%	42%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	11.1%	10.6%以下	「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	10.7%		
	湖北地区	13.7%		
	新木地区	13.6%		
	布佐地区	11.9%		

【効率的・効果的な財政運営】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 67.6%

指標名		現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）		19.5%	47%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	15.6%	13.1%以下	「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	13.2%		
	湖北地区	20.4%		
	新木地区	13.6%		
	布佐地区	17.4%		

【広域行政の推進】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 73.7%

指標名		現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）		35.6%	52%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	8.6%	7.6%以下	「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	7.7%		
	湖北地区	11.1%		
	新木地区	10.1%		
	布佐地区	8.0%		